

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

令和5年7月 第205号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 現場を守り 80年
- 重ねよう 細かな確認 自主保安



猪苗代湖湖南七浜

写真提供：福島県観光交流課

第80回通常総会	2	単位組合紹介(福島県一般高圧ガス協会)	13
全溶連大会2023九州開催	6	賛助会員の広場	
ご来賓の祝辞	9	(日本生命保険相互会社/株式会社JKW)	14
業界功労者一覧	11	波濤(経済産業省 産業保安グループ	
懇親会	11	高圧ガス保安室長 鯉江雅人)	15

第80回 通常総会 全溶連大会2023九州開催



2023年6月8日ホテル日航福岡において一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会（以下全溶連という）の第80回通常総会が開催されました。

総会開催に当たり鈴木副会長より、「本日は第80回全溶連総会にお忙しい中、ご出席賜り、また、会員、賛助会員、関係諸団体の皆様には、日頃から全溶連事業活動につきまして、ご理解とご協力を賜りまして重ねて御礼申し上げます。

今回の会場である福岡市は、九州の政治、経済、文化の中心としてエネルギーな街として栄え、独自の文化といにしへの歴史を感じるところであります。美しい山と海に囲まれ、古くからアジアの玄関口として役割を果たしています。

本総会では、重要な議案をご審議頂くわけですが、全体的にスケジュールは大変タイトなものとなっておりますので、皆様のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

これより、第80回一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会、通常総会の開会を宣言致します。」との開会の辞があり続いて深尾会長より以下の挨拶がされました。

「第80回社員総会・大会をここ九州の福岡で開催するにあたり、会員、賛助会員の皆様にはご多忙の中、全国各地よりご臨席を賜りまして、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

九州での開催は2007年 第64回大会以来、16年ぶりとなります。

本日の総会、大会を企画実行して頂きました福田実行委員長をはじめ、九州高圧ガス流通保安連合会の皆様に、あらためまして、心より感謝を申し上げます。

さて、我々、高圧ガス溶材販売の業界は、エネルギー価格や原材料の高騰、人手不足等で相変わらず厳しい状況です。ここにご出席頂いている、理事、評議員、代議員の皆様方におかれましては、業界を盛り上げて頂くべく、全溶連の取り組みを通じて、益々リーダーシップを発揮していただけますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

この一年間の全溶連の活動に関しましては、高圧ガス保安確保のための保安文書類の改訂や新規文書の発行を中心に取り組んで参りました。財政基盤の健全化も順調に進んでおります。詳しくは、後ほど議案審議の中でご報告させて頂く予定です。

また、本日は理事、代議員、評議員の任期満了に伴う改選もございまして、宜しくご審議いただきますようお願いいたします。

なお、本日は、この総会の後、大会ならびに懇親会が行われます。一連の議事におきまして、闊達な意見交換が行われ、実りある議事運営が出来ますよう、皆様のご協力をお願いして、私の挨拶



深尾 会長

とさせていただきます。』

次いで司会より議決権数について正会員議決権数：31（出席24、委任状7）、代議員議決権個数：

150（出席79、委任状71）で定款20条に規定する過半数の出席があり本総会は成立していることが報告されました。

第80回通常総会

第1号 議案

2022年度事業報告

次の3項について事務局より報告しました。

- 1.全溶連の環境（内容省略）
- 2.全溶連の事業活動の状況（概略報告）

(1)第79回全溶連総会の開催

2022年6月9日、メルパルク東京において第79回全溶連総会が開催されました。本年度は大会のない総会となりましたが、新型コロナウイルス感染の防止の観点から参加者を限定し、賛助会員については対象外とし懇親会は中止としました。

(2)高圧ガス保安確保への対応

全溶連は消費先の保安確保を最重要課題として取り組んでおりますが、決して事故が全体として減少に向かっているとは言い難い状況です。

全溶連としては、会員への高圧ガス保安法のコンプライアンスの徹底と商慣行改善を目指す一環として、消費先の皆様の自主保安の強化を行っており、昨年11月に開催した保安対策連絡会議においてはコロナ対策として、ソーシャルディスタンスを確保するための広い会場を確保し、マスクの着用及び、消毒の徹底を図ったうえで開催しました。自然災害により高圧ガス容器が充填所、貯蔵庫から流出しましたが、社会的不安を解消すべく関係機関と連携して対策に取り組みました。また高圧ガス保安協会の支援のもと、第6期（2020年4月1日より2023年3月31日まで）の放置容器処理事業の最終年度がスタートしました。第6期最終年度の処理内容は内容物不明容器2本、毒性ガス容器2本、アセチレン容器188本を処理しました。

(3)全溶連福祉共済団体保険の拡充

第8回目のキャンペーンは、全溶連大会延期により、新たに2021年10月から2023年3

月の間でポイント加点基準による「ポイントゲットキャンペーンPart3」を実施した結果、第1位：九州組合、第2位：兵庫組合、第3位：山梨組合、第4位：神奈川組合、第5位：奈良組合となりました。

(4)全溶連賠償責任保険の拡充

2022年度の募集結果は505社の加入で前年度に比較し、3事業所減となりました。保険料は59,954千円、前年比1,643千円の増額となりました。目標としている加入率50%に比較し、2022年度は56.1%と目標数字を上回りました。

(5)高圧ガス溶材企業年金の現況

高齢化社会が急速に進展しつつある我が国では国民年金法の一部が改正され、年金制度において被用者保険の適用拡大・在職老齢年金の支給停止要件の緩和・更なる支給開始年齢の引き上げ等が順次実施されております。

このような環境下において、当基金は公的年金を補完する仕組みとして、また会社を支える従業員の福祉向上の要請に応えるためにも益々重要な役割となっております。

基金の規模は、2023年3月末現在で加入事業所356社、加入員9,664名、年金受給者1,678名、年金資産総額約108億円の規模となっております。

次に3.一般庶務事項、5.総会及び役員会における審議事項、6.会員数の状況、7.慶弔については時間の関係上割愛となりました。

4.委員会活動の状況

各委員長より活動状況について報告されました。

組織委員会（大島委員長）、経済委員会（佐藤委員長）、保安委員会（大岡委員長）、厚生委員会（上野副委員長）、広報委員会（藤本委員長）より活動内容について報告されました。

なお、総務委員会は第3・5号議案、財務委員会は第2・4号議案で報告されました。

以上1号議案は、拍手で承認されました。

第2号
議案

2022年度
収支決算承認の件

柳川財務委員長より2022年度収支決算について報告されました。

収入の部		単位=円	支出の部		単位=円
科 目	決 算		科 目	決 算	
1. 基本収入 会費収入	25,904,000		1. 事業費 保安事業関係	4,422,019	
2. 事業収入 保安事業関係	8,333,596		2. 販売費及び一般管理費 人件費	17,494,344	
共済事業関係	6,655,999		会議費	3,040,541	
(事業収入合計)	14,989,595		その他事業費	4,796,475	
3. 全溶連総会収入	0		諸経費	10,277,083	
4. 事業外収入	1,792,245		(販売費及び一般管理費合計)	35,608,443	
収入合計	42,685,840		3. 営業外費用	2,800,114	
5. 前年度繰越金	16,943,986		4. 支出合計	42,830,576	
総合計	59,629,826		5. 次年度繰越金	16,799,250	
			総合計	59,629,826	

2022年度利益は次年度繰越金16,799,250円から前年度繰越金16,943,986円を引いた-144,736円となりました。

財産目録

単位:円

流動資産 (現金・預金等)	80,367,295	流動負債 (未払費用等)	6,000,226
固定資産 (敷金)	5,040,500	固定負債 (大会準備引当金等)	17,608,319
資産 合計	85,407,795	負債 合計	23,608,545
		差引正味財産	61,799,250
		負債並びに正味財産合計	85,407,795

次に利益処分案として本年度損益-144,736円を前年度繰越金16,943,986円に加えた16,799,250円を次年度繰越金とする利益処分案が提案され承認されました。

引続き監事を代表して田畑監事より監査報告がなされ、第2号議案は承認されました。

第3号
議案

2023年度事業計画(案)

東狐総務委員長より13項目の2023年度事業計画案が提案されました。

1. 高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
2. 高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
3. 主管庁との密接な連絡・関係法令の答申および伝達指導
4. 自主保安活動および消費者への保安対策の強化・推進
5. 関連業界および団体との共同事業の推進
6. 高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施
7. 高圧ガス不明容器処理の対策・推進
8. 組織の整備・拡充強化と会員増強努力
9. 福祉共済制度・団体定期保険(キャンペーン)および傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに賠償責任保険制度の普及
10. 会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
11. 第80回全溶連大会(九州)の開催および第81回全溶連総会(大阪)の準備
12. 「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充
13. SDGsの活動の展開

以上の第3号議案の提案に対し、拍手で承認されました。

第4号
議案2023年度収支予算(案)
承認の件

収入の部		単位=円	支出の部		単位=円
科 目	2023年度予算		科 目	2023年度予算	
1. 基本収入			1. 事業費		
会費収入	25,880,000		保安事業関係	5,110,000	
2. 事業収入			2. 販売費及び一般管理費		
保安事業関係	8,940,000		人件費	16,950,000	
共済事業関係	6,509,000		会議費	3,100,000	
(事業収入合計)	15,449,000		その他事業費	6,270,000	
3. 全溶連総会収入	0		諸経費	10,262,000	
4. 事業外収入	1,750,000		(販売費及び一般管理費合計)	36,582,000	
収入合計	43,079,000		3. 営業外費用	1,380,000	
5. 前年度繰越金	16,799,250		4. 支出合計	43,072,000	
総合計	59,878,250		5. 次年度繰越金	16,806,250	
			総合計	59,878,250	

2023年度の利益は次年度繰越金16,806,250円から前年度繰越金16,799,250円を引いた7,000円となります。第4号議案は拍手で承認されました。

第5号
議案2023年度理事・監事評議員・
代議員改選の件

理事・監事・評議員・代議員の選任について東
狐総務委員長より議案書に基づき提案され、満場
一致で承認されました。

1. 理事 (7名)

深尾定男 (東京)、鈴木慶彦 (東京)、
石川雅一 (東海)、河西哲男 (神奈川)、
福田愛二郎 (九州)、佐藤俊明 (宮城)、
廣瀬哲三 (大阪)

2. 監事 (2名)

永山宗春 (東京)、田畑浩一 (大阪)

3. 評議員 (48名)

4. 代議員 (147名: 6名欠員)

※尚、先の理事会で理事が承認された場合あ
らかじめ会長・副会長の選任がされており、
2023年度の会長・副会長は次の方をお願い
することになりました。

会 長：深尾定男 (再任)

副会長：鈴木慶彦 (再任)、河西哲男 (再任)、
石川雅一 (再任)、福田愛二郎 (再任)、
廣瀬哲三 (新任)

第6号
議案第80回全溶連大会宣言文
採択の件

(全溶連に関するもの)

○「全溶連 現場を守り 80年」

(保安に関するもの)

○「重ねよう 細かな確認 自主保安」

以上2点が提案され、拍手で承認されました。

以上を以て第80回全溶連通常総会の議事が終
了し、最後に河西副会長の挨拶で閉会となりまし
た。

「本日は長時間に亘る総会、大変お疲れ様でし
た。まずもって、第80回全溶連通常総会が皆様
のご協力により、全ての案件が無事終了しまし
たこと、厚く御礼申し上げます。我々高圧ガス関連業
界は、相変わらず厳しい状況に変わりありません
が、厳しい状況の中でも保安を最優先に我々は、
商売を続けていかななくてはなりません。全溶連
では消費者に高圧ガスを安全、安心に使って頂
くために、法令遵守、自主保安の確保に対する取
組みを強化することが重要です。

保安の確保には全国の会員皆様の協力により消
費者にいかに周知するかが重要であり、全溶連で

は、保安活動を通じて、社会に貢献する事が我々業界の目標であります。

本日は長時間にわたるご審議、大変お疲れ様でございました。」と挨拶がありました。

全溶連大会2023九州大会開催

2023年6月8日ホテル日航福岡において第80回全溶連大会九州が開催されました。

福岡での大会開催は16年ぶりですが、今回は九州高圧ガス流通保安連合会が実行委員会となり、福田実行委員長を先頭にして、それをサポートする多くの方々の協力により全溶連大会が盛大に開催されました。

大会式典ではご来賓の紹介、全溶連役員紹介、開会の辞、国歌斉唱、物故者紹介、黙祷、実行委員長、全溶連会長挨拶、ご来賓祝辞、祝電披露、業界功労者表彰、福祉共済制度ポイントゲットキャンペーンPart3優秀組合表彰、全溶連SDGs宣言、来賓挨拶、開会の辞、さらに第二部では太宰府天満宮39代宮司西高辻信良様より「天神の柱に生きて」との題目で記念講演が行われました。

当日、ご臨席を賜ったご来賓は次の方々です。(敬称略)

経済産業省 九州産業保安監督部

保安課長 菊田 宗徳

福岡県

副知事 江口 勝

福岡市

副市長 中村 英一

特別民間法人 高圧ガス保安協会

会長 近藤 賢二

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会

会長 上原 正弘

高圧ガス保安協会 九州支部

事務局長 芳賀 洋志

福岡県商工部工業保安課

課長 有働 大輔

福岡市消防局

局長 高田 浩輝

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会

九州地域本部 本部長 古賀 公貴

式典第一部

九州高圧ガス流通保安連合会の古谷副会長より「本日は第80回全溶連大会2023九州に全国各地からご参集頂き誠に有難うございました。心より御礼申し上げます。先ほどご紹介いただきましたご来賓の皆様方、時節柄ご繁忙の中、ご出席頂きましたこと、心より御礼申し上げます。本大会を実施するにあたりまして、実行委員を中心に全会員が努力して参りましたが、本大会のために、ご出席頂きました皆様方のさらなるご協力をお願い致しまして、改めてここに、第80回全



溶連大会九州の開会を宣言致します。」と力強く挨拶の後、国歌斉唱と14名の物故者の方々に対し冥福を祈る黙祷を捧げました。

次に本大会実行委員会の福田委員長より挨拶がありました。

「本日は第80回全溶連大会2023九州にお集まりいただき誠にありがとうございます。」

又、ご来賓の皆様には大変お忙しい中、ご臨席賜り誠に有難うございます。

この全溶連大会は、前回金沢での北陸大会に続き、1度のコロナによる中止を経て4年ぶりの開催となります。九州では16年ぶりここ福岡市で



は初めての開催となります。

福岡市はたいへんパワフルでエネルギッシュな街ではありますが、今100年に一度といわれる都市開発天神ビックバンが進んでおり、よりパワフルでエネルギッシュな街に変貌しつつあります。この全溶連大会で、そのパワフルさ・エネルギッシュさを少しでも感じて頂ければと思っております。

この大会は、80回という節目の大会です。その記念すべき大会で14名の方が会長表彰を受けられます。授賞される皆様には心よりお祝い申し上げます。

また、この大会で全溶連SDGs宣言が行われます。この宣言により持続可能な社会に向け、全溶連のあるべき姿・とるべき行動が明確になると思います。また、この宣言により全溶連という組織のブランドイメージが向上するものと思います。

記念講演では、全国に10,000を超えるお社の総本宮である太宰府天満宮前宮司で第39代宮司の西高辻信良様よりご講演をいただきます。天神宮にまつわる興味深いお話を伺えることと思えます。また、明日の観光では、3年限定という仮殿での特別参拝を予定しております。

懇親会では、九州沖縄の日本酒、焼酎、泡盛などを準備し、九州を全身で感じて頂ける企画を準備しております。コロナの規制が緩和されこれだけ多くの方が集うのは久しぶりでございます。顔を合わせながら会話を楽しみ親睦を深めていただければと思っております。

それでは、この大会が皆様にとって有意義で楽しく記憶に残る大会になる事を期待祈念しまして挨拶とさせていただきます。」

続いて主催者であります深尾会長より挨拶されました。

「全溶連は昭和7年に発足し、全国各都道府県における組合の連合体として、91年に亘り歴史を紡いで参りました。これもひとえに、監督官庁である経済産業省を始め、高圧ガス保安協会、日本産業・医療ガス協会、関係諸団体、並びに賛助会員の皆様より、ご指導とご助力を賜ったおかげであり、全溶連会員各位のご協力の賜物であります。



さて、近年、河川の氾濫、浸水被害や土砂崩れ等、全国各地で大規模な自然災害が発生しており、さらには、家畜伝染病である鳥インフルエンザの発生も続くなど、甚大な被害がもたらされています。全溶連では、こうした災害に備え、高圧ガス業界団体の協力のもと、対応策を講じていくことが重要な課題であると考えています。特に放置容器の危険性は高いことから、高圧ガス容器回収の取り組みを徹底し、消費先に対して早期返却の励行を促すとともに、高圧ガス保安契約締結の周知徹底を進めて参ります。加えて、鳥インフルエンザ対応についても引き続き取り組んでまいります。

また、消費先における高圧ガス災害事故件数が依然として高水準で推移していることも見過ごせません。その原因として、誤操作・誤判断など、ヒューマンエラーが上位を占めています。こうした事故を防止するには、消費先において、取扱いガスの特性や機器の使用方法を再確認して頂くことを徹底していただかなければなりません。併せてヒューマンファクターに合致した事故防止策を講じてもらうことが肝心です。全溶連では、保安啓発指導の徹底が何より重要であると考えており、引き続き関係機関と連携を図り、周知文書等の啓発資料の徹底配布を図ると共に、保安文書類の改定・拡充に、より一層注力して参る所存です。

「高圧ガスの保安を通じて如何に社会に貢献するか。」

全溶連では、本大会において、新たな目標として「SDGs宣言」を致します。全会員が力を合わせて、持続可能な未来社会を目指し、新たなステージへ踏み出すものです。つきましては、あらためまして、経済産業省はじめ、行政ご当局、高圧ガス保安協会、日本産業・医療ガス協会、並びに関係団体、賛助会員各位の引き続きのご指導ご支援を心よりお願い申し上げます。

結びとしまして、今大会の開催をご担当頂きました九州高圧ガス流通保安連合会 福田会長をはじめ、実行委員会の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げ、ご来賓並びに本日ご参加の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして私のご挨拶といたします。」

次いで業界功労者及びキャンペーン達成組合の表彰式が行われました。

業界功労者表彰

(詳細はP11に掲載)

今回受賞された方は14名で、受賞者を代表しまして石塚 勲氏(富士見興業(株))が謝辞を述べました。



福祉共済制度ポイントゲットキャンペーンPart3感謝状授与

全溶連福祉共済制度加入推進の「ポイントゲットキャンペーンPart3」の結果、上位5組の組合に対し、賞状と記念品が授与されました。

- 第1位 九州高圧ガス流通保安連合会殿
- 第2位 兵庫県高圧ガス協同組合殿
- 第3位 山梨県高圧ガス溶材組合殿
- 第4位 一般社団法人 神奈川県高圧ガス流通保安協会殿
- 第5位 奈良県高圧ガス溶材商協会殿



以上5組合の他にも多数のチャレンジがなされましたが、今回は上記5組合が表彰となりました。ご協力誠に有難うございました。

大会宣言文発表

九州高圧ガス流通保安連合会の実行委員会の方からお寄せいただきました大会宣言文の中から以下の2点が選ばれました。2年後の大会迄の間の大会宣言文として使わせて頂きます。

大会宣言は九州高圧ガス流通保安連合会の会員である株式会社大洋サンソ 代表取締役社長 井上透様より発表されました。

全溶連に関する宣言文	「全溶連 現場を守り 80年」
保安に関する宣言文	「重ねよう 細かな確認 自主保安」

SDGs宣言

次いで全溶連で経済委員会と保安委員会を管掌している石川副会長よりSDGs宣言の発表がありました。

「2030年までによりよい世界を目指す国際目標として、国連から発表された持続可能な開発目標「SDGs」に、このたび全溶連として取り組んでいくことになりました。第80回全溶連大会式典において、これを宣言いたします。」

石川副会長は「我々は業界創設以来、供給先で高圧ガスを安全にご利用頂き、高圧ガス容器の不当な扱いから発生する事故災害の減少をはかり、高圧ガスの恩恵を享受できる社会の明るい未来のため活動を続けてきており、それはこれからも必須です。そうして取り組まれてきた活動の正当性を証明してくれるSDGsを推し進め、我々が何をを目指すのかを見ていただきたい」と続けて、全溶連のSDGs活動の主旨を紹介した5分あまりの動画を上映。その後「本当の主役は会員の皆様です。SDGs宣言を追い風に、今後も保安活動をいつそう活発に推し進め、全会員力を合わせ、次の未来を形作っていきましょう。」と締めくくりました。



ご来賓の祝辞

経済産業省 九州産業保安監督部 保守課長

菊田 宗徳 様

経済産業省九州保安監督部課長 菊田様が、鯉江高圧ガス保守室長の名代として出席頂き祝辞を代読されました。

祝辞の内容につきましては、P15の「波濤」をご覧ください。



福岡県 副知事

江口 勝 様

「第80回全溶連大会2023九州」の御開催、誠にありがとうございます。全国高圧ガス溶材組合連合会の全国大会が、16年ぶりに九州で開催されますことをお慶び申し上げますとともに、御来県いただきました皆様を心から歓迎申し上げます。

この大会は、2年前に新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、関係する皆様の御尽力により、今回、ここ福岡で盛大に開催される運びとなりました。開催地福岡県を代表してお礼申し上げます。

貴連合会は、昭和7年の発足以来、時代の要請に従い様々な変遷を経て経済団体から保安団体へと発展され、今日では、我が国における高圧ガス及び関連機器の保安の推進役となっております。これまで高圧ガス及び関連機器の保安確保に御尽力されました歴代役員の方々、会員の皆様方の多大なる御努力に対しまして、深く敬意を表します。

高圧ガス及び関連機器は、各種工業用から日常生活まで多岐にわたる分野で安定的に利用されることで、我が国の社会経済基盤や生活基盤を支える重要な役割を果たしています。一方で、ひとたび事故が起きると甚大な被害をもたらす危険性を秘めているものでもあるため、徹底した自主保安

の取組みが肝要であり、貴連合会には、非常に重要な役割を担っていただいております。

福岡県では、県内の高圧ガス関連団体と連携して、高圧ガス事故撲滅と自主保安体制の構築に取り組んでいます。我々行政にとっても、一般高圧ガス販売業界における全国の会員が一堂に会し、業界の社会的責務である高圧ガスの自主保安の確立と、共栄の意識を深める本大会は、産業保安を推進する上で大変心強いものであり、第80回という記念すべき福岡での大会が実り多いものとなることを大いに期待しています。

豊かな自然と歴史、文化にあふれる福岡には、「食」や「祭り」、「伝統工芸品」、「歴史的建造物」など魅力ある観光資源が数多くあります。新鮮な海の幸やラーメン、うどん、水炊き、もつ鍋など福岡ならではの郷土料理も気軽に楽しめます。県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に福岡を感じていただければ幸いです。

最後に、全国高圧ガス溶材組合連合会の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



福岡市 副市長

中村 英一 様

全国の高圧ガス並びに溶接関連機器材料販売業の関係者の皆様、第80回全溶連大会2023九州が、ここ福岡市で開催されますことをお祝い申し上げますとともに、心より皆様を歓迎いたします。ま

た、本大会の開催にご尽力されました全国高圧ガス溶材組合連合会並びに九州高圧ガス流通保安連合会をはじめとした関係者の皆様に深く敬意を表します。貴連合会は昭和7年に発足して以来、一般高圧ガス販売業界唯一の全国団体として長きにわたり業界全体の自主保安体制の整備と積極的な推進により、高圧ガス事故防止に大きく寄与され

ております。福岡市におきましても、市民が生活を営む上で欠くことができない高圧ガスを安心して消費できますのは、貴連合会の多大な貢献によるものだと考えており、心から感謝を申し上げます。さて福岡市では、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指してまちづくりを進めております。そのなかでも、脱炭素社会の実現に向けて「水素リーダー



都市プロジェクト」を推進しており、このプロジェクトでは、下水バイオガスを活用した水素ステーションの運営や新たなモビリティの導入に取り組んでおります。また、まちづくりへの水素実装として、市民が生活の中で水素を利活用できるよう、水素供給パイプラインの整備にも取り組んでまいります。今後も、今回ご列席の関係事業所、省庁の皆様のご協力を頂きながら、安全安心で調和のとれた都市を目指してまいります。最後に、全国高圧ガス溶材組合連合会の今後益々の発展とご列席の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

特別民間法人

高圧ガス保安協会 会長 近藤 賢二 様

第80回全国高圧ガス溶材組合連合会大会が、福岡県で盛大に執り行われますことを心よりお祝い申し上げます。

貴連合会は、昭和7年に全国溶材商連合会として設立されて以来、今日まで一般高圧ガスの販売業界における唯一の全国団体として、業界の健全な発展を推し進められ、我が国の経済発展に貢献されてきました。

全溶連大会が第80回の節目を迎え盛大に開催されますことは、設立当初から高圧ガス保安にご尽力されました歴代会長をはじめ、各組合・会員の皆様方の並々ならぬ努力の賜物であり、深く敬意を表します。

貴連合会は、昭和7年に全国溶材商連合会として設立されて以来、90年以上もの長きに亘り、高圧ガス及び関連機器材料の流通から高圧ガス事故の発生防止に至るまで、広範かつ様々な取り組みを通じ、業界の健全な発展に欠かせない貢献を続けてこられました。また、会員数1,355社を擁する一般高圧ガス販売業界唯一の全国団体として、同業界における自主保安活動の中核を担い、高圧



ガスの消費者及び販売業者の安全を第一に着実な成果をあげてこられました。

特に全国規模で展開する放置容器や長期停滞容器等の回収・処理事業においては、貴連合会を中心として公共の安全確保に大きく寄与されてきました。この活動は放置容器等の危険性の排除と事故の未然防止に繋がる極めて効果的な取り組みであると認識しています。引き続きこの取り組みが今後もより一層促進されることを期待したいと思います。

ここで経済情勢に目を転じますと、本年1月のIMF世界経済見通しによると、令和5年の日本経済の成長率は、昨年10月の予測から0.2ポイント高い1.8%へと上方修正されたものの、令和6年は0.9%へと鈍化が見込まれております。日本経済を巡る不確実性は極めて高く、今後も厳しい景気状況が続くものと思われませんが、そのしわ寄せが保安活動に及ぶことがないように、我々には細心の注意が求められます。高圧ガスは人々の生活を支えるだけでなく、産業用・医療用の分野に加え、防災対策上も必要不可欠なエネルギーであります。引き続き保安確保のため、より一層の保安活動を推進していくよう、共に取り組んでまいりましょう。

最後に、貴連合会の今後の益々のご発展と会員の皆様方より一層のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝電披露

デンヨー(株)、パナソニックFSエンジニアリング(株)、(株)ダイヘン、岩谷産業(株)様他多数の祝電を頂戴いたしました。どうも有難うございました。

第80回全溶連大会 2023九州 業界功労者表彰

永年の功績が認められ 晴れの業界功労者表彰

第80回全溶連大会 2023九州において、永年にわたり全溶連並びに単位組合においてご尽力いただいた功労者14名に深尾会長より表彰状が授与されました。受賞者を代表して富士見興業株式会社代表取締役 石塚 勲氏より「第80回全溶連大会において業界功労者表彰の栄に浴したことは関係ご当局、諸先輩のお力添えのお陰であり、心から感謝申し上げます。今後は本日の榮譽を汚すことがないよう、法令遵守に努め全溶連の一員として業界発展に努力したい。」との謝辞が述べられ、満場拍手の中、表彰式が終了しました。

表彰状受賞者 (五十音順：敬称略)

石塚 勲 (東京)
富士見興業(株) 代表取締役社長

澤田 優雄 (大阪)
アバンテ都島(株) 専務取締役

白井 啓貴 (大阪)
(株)エム・ジー 代表取締役社長

杉谷 英範 (九州)
(株)朝日酸素商会 代表取締役社長

高橋 宜夫 (兵庫)
三幸合同サンソ(株) 代表取締役会長

田崎 政秀 (東海)
タサキ溶材商事(株) 代表取締役社長

坪坂 尚史 (北陸)
サカ中産業(株) 常務取締役

中西 清三 (静岡)
東海アセチレン(株) 代表取締役

細田 知義 (和歌山)
細田産業(株) 取締役会長

益子 陽一 (神奈川)
(株)三春商会 代表取締役社長

松原 好成 (東海)
(株)松原商店 代表取締役社長

宮嶋 寛幸 (九州)
福豊帝酸(株) 代表取締役社長

山田 吉盛 (九州)
(株)ヤマックス 代表取締役社長

山脇 淳平 (広島)
山脇酸素(株) 代表取締役会長



式典第二部

第80回全溶連2023九州の記念講演として、太宰府天満宮第39代宮司 西高辻信良氏より「天神の柱に生きて」との題目で講演を頂きました。



懇親会

懇親会の準備が整い、開場を待っていた参加者がそれぞれの場所に着席されいよいよ懇親会の幕開けとなりました。まず初めに、内村武志九州高圧ガス流通保安連合会副会長が開会挨拶を行った後、一般社団法人日本産業・医療ガス協会の上原正弘会長の乾杯挨拶で懇親会が始まりました。乾杯に



当たっては、福岡ドームなどでもおなじみのビアサーバー隊も加わりにぎやかな開幕となりました。また、会場には、九州・沖縄おすすめの日本酒・焼酎・泡盛・ワインが大量に用意され、おいしい料理と併せ舌鼓を打ちながらどんどん消化されました。

まずステージに登場したのは、女性4人グループ「ファンファン」の演奏による九州を感じさせるステージが始まり、さらに飛び入りでデュエットする等のサプライズも飛び出し、次にアカペラサークルQUEの心地よい音楽を聴いた後、



会場はさらに盛り上がり「日向のひょっこ踊り」の出演では参加者が総出となり、会場が所狭しとばかり和やかに楽しく舞い踊り懇親会ムードは一層高まりました。会場の雰囲気が落ち着き、会話が弾む中、博多において締めを飾る行事として行われている山笠中洲流れ 博多祝い唄と進み、九州高圧ガス流通保安連合会井上顧問の先導の下、博多手一本による締めの挨拶で閉会となりました。



オプショナルツアー(6月9日)

観光コース

当日は参加者19名が1台のバスに乗車し柳川の川下り、柳川藩主立花邸の見学、御花での名物である「うなぎセイロ蒸し」を堪能した後、太宰府天満宮に向かう道中、渋滞に巻きこまれるアクシデントはあったものの予定されていた特別参拝も無事行うことが出来ました。(お疲れ様でした)



ゴルフコース

全溶連懇親コンペは九州を代表する名門コースの福岡カンツリー倶楽部において行われ、10組40人が参加し熱戦を展開しました。当日は梅雨晴れとなり、まさに最高のゴルフ日和でした。優勝は北九州市に本社を置く(株)テクノサーブの末吉隆宣社長の頭上に輝き、産報出版社より優勝トロフィーが贈呈されました。

結果(ダブルペリアによる)

優勝：末吉隆宣氏(九州)

準優勝：竹腰 大介氏(東海)

3位：峰 雅彦氏(大阪)

ベスグロ：竹腰 大介氏(東海)

懇親会の翌日プレーということから体調面が心



配されましたが、皆さん無事に終了しました。なお、当日は実行委員会ゴルフ担当の(株)フクヨウ細川様はじめスタッフの皆様のご協力ですmoothに進行できましたこと誠に有難うございました。

単位組合紹介

福島県一般高圧ガス協会

所在地 〒963-0725
 福島県郡山市田村町金屋字新家34-1
 TEL: 024-942-8731
 会長 渡辺 明宏



渡辺明宏会長

本会は、昭和48年4月に設立され、一般高圧ガスに関する保安啓発行事は基より、事務局内にはJIMGA医療ガス部門福島県支部を併設運営し、県内での医療ガスを含めた高圧ガス全般における保安啓発の情報発信拠点とし、県内の加盟企業47社により運営しております。

この数年間、市況に影響を及ぼしていた新型コロナウイルス感染症対策により、対面での多人数の集合が忌避される状況から実施が困難であった定例行事も、緩和の気配を感じ始めた昨年より対面式による総会の開催、消費者保安講習会の実施、また県行政との共同防災訓練等の実施など、いよいよコロナ禍以前の状態に戻つつある近況となっており、本年度も既に協会の第51回合同総会を対面式にて開催を終えたところですが、今後は従来の定例行事全般をより一層にブラッシュアップし、オンライン化対応や保安講習会の質的向上などの課題はあるものの、なるべく以前の対面集合行事に戻していこうと計画しているところです。

また、平成28年5月に県所轄行政との調印となった鳥インフルエンザ等感染症対策におきましては、昨年暮れに県内初となる県北地区2か所での発生事象に対し、当該地区協会員の尽力により無事に鎮静化へと繋げることが出来ました。官民共々に初対応となったことから、実施状況を見る限りでは容器の配置場所や再充填の問題、夜間配送に係る人員手配問題、殺処分従事者の精神的ストレス問題など、今後も解消が必要な諸問題が多数有ることから、行政との対応マニュアルや当協会内における対応手順の再考が必要と考えております。

一方、当地域の市況を顧みますと、震災後12

年が経過した今でも緊急事態宣言は継続中であり、原発の廃炉問題以外には年月も経つことから、相応に風評被害も薄れた感はあるものの、以前のような市況への回復には未だ程遠い実態であり、コロナ禍やエネルギーコストの増加も相まって民需の回復は遅々とし、地域の中小企業にとっては非常に厳しい環境に在ります。

このような中、高圧ガス事故統計では容器の盗難、工場設備の老朽化による事故災害などが増加しており、市場回復の先が見えない現在では、消費者側への“保安意識の復興”が主点であると考え、高圧ガス事故の撲滅対策をより一層推進することにより、地域経済の保安啓発に寄与し、更なる地域経済復興の一助として本協会を活用して頂ければ幸いです。



賛助会員の広場

愛する人のために 谷川俊太郎

保険にはダイヤモンドの輝きもなければ、
パソソンの便利さもありません。
けれど目に見えぬこの商品には、
人間の血が通っています。
人間の未来への切ない羅みが
こめられています。

愛情をお金であがなうことはできません。
けれどお金に、
愛情をこめぬことはできません。
生命をふきこむことはできます。
もし愛する人のために、
お金が使われるなら、

日本生命

今日と未来を、つなぐ。  日本生命



トータルソリューション力で 溶接課題を全面解決

商品名	規格	適用鋼種
KC-50	YGW11	軟鋼及び490MPa級高張力鋼
KC-55G	YGW18	490～550MPa級高張力鋼
KC-60	G59JA1UC3M1T	550～590MPa級高張力鋼

株式会社 **JKW** www.jkw.co.jp

本社： 東京都台東区蔵前 2-17-4 JFE蔵前ビル TEL 03-3864-3731
 東日本営業室： TEL 03-3864-3530 名古屋支店： TEL 052-561-3442
 大阪支店： TEL 06-6395-2233 西日本支店： TEL 084-973-2561



経済産業省 産業保安グループ

高圧ガス保安室長 鯉江雅人 様



全国高圧ガス溶材組合連合会総会の開催にあたり、一言お祝い申し上げます。

貴連合会及び会員の皆様には、高圧ガス保安行政にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

前回の全溶連史発刊から10年が経過し、環境・社会の目まぐるしい変化の中で、高圧ガスは社会の様々な分野においてなくてはならない必要不可欠な存在であり、その重要性はいつの時代も変わることはありません。他方、高圧ガス関連事故件数の高止まり、保安人材の不足や設備の高経年化といった課題が顕在化しております。また、平成23年3月の東日本大震災から12年を経ますが、この間にも平成28年の熊本地震や平成30年の北海道胆振東部地震、西日本豪雨など数多くの災害が発生し、高圧ガス設備の被害や高圧ガス容器の流出などがありました。

こうした中、貴連合会におかれましては、高圧ガス消費者のための危険事例集、高圧ガス消費者保安講習テキストや高圧ガスの地震

防災対策冊子などの各種保安文書の発行・改訂などの活動を精力的に実施され、高圧ガスの保安及び事故防止に向けて多大なる貢献をしておられることに対し、深く敬意を表します。

今後とも貴連合会を中心として、高圧ガス販売事業者の方々には高圧ガス保安の確保に取り組んでいただきたいと考えております。

今年は、貴連合会が発足してから約90年、総会としては通算80回目を迎える節目の年であり、今般、全溶連史を10年ぶりにまとめられましたことは、これまでの歩みを振り返るとともに、保安の確保という責任の重大さを改めて認識し、将来にわたる活動の方向を見定める契機となるという意味においても、意義深いものであると考えております。

最後に、貴連合会のより一層の御発展、会員の皆様の御健勝、そして御安全を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

スマホでも読める新しい情報源

電子版
S ガスメディア
Weekly

毎週火曜日配信(週刊)
カラー電子版



購読料

6カ月：10,000円 1年：20,000円(税別)

産報出版は、ガス全体を網羅した新たなメディアとして、週刊『電子版ガスメディア』を創刊いたしました。産業用、医療用から、都市ガス、LPガスなどの一般情報まで、ガスに関するあらゆる情報を幅広く掲載し、国内外の最新動向をきめ細かく発信します。

産報出版株式会社

●東京本社：TEL：03-3258-6411 FAX：03-3258-6430
●関西支社：TEL：06-6633-0720 FAX：06-6633-0840

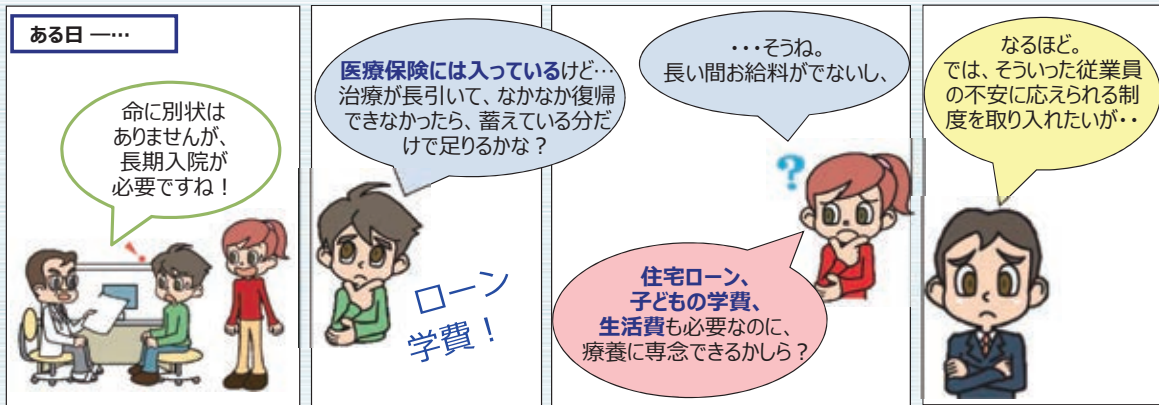


団体割引
20%適用

長期収入サポート制度 (全溶連GLTD制度)のご案内

(団体長期障害所得補償保険)

病気やケガで働けなくなった場合に**長期で収入を補償する制度**です。
連合会としてまとめて加入することで、割安な保険料での準備が可能です。
御社の福利厚生を拡充のため、制度導入をご検討ください。



そんなときに!!!

全溶連GLTD制度

POINT

- 免責期間と補償期間の組み合わせで8つのタイプから選択可能。
- 健康状態告知は全員加入一括告知書を採用 (既往症があっても通常勤務されていれば加入可能)。

福利厚生の更なる充実や、自助努力への第一歩として、ぜひ企業さまでの導入をご検討ください



勤務先に「GLTD制度」があつて本当に良かった!

長いリハビリ中も、収入の心配もなく元氣になって良かったわ



よし! 当社も導入しよう!



GLTDについてのお問い合わせはこちらまで

取扱代理店
株式会社 星和ビジネスリンク
TEL 0120-288-270

引受保険会社
【幹事】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部 営業課
TEL 050-3460-8162
【非幹事】 日本生命保険相互会社

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「全溶連・福祉共済制度のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり (普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を被保険者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

(2022年11月承認) B22-102927

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会
東京都千代田区神田北乗物町 12 (大竹ビル)
Tel.03-5296-0430 Fax.03-5577-5062
http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com



全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会 (E3PA) の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。

